

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
1	SDG s 先進地域「にし阿波」における農泊観光推進プロジェクト(広域連携) ＜推進交付金＞	にし阿波での農業体験や教育旅行等で培われたSDG sに繋がる教育体系を、農泊エリアへの観光誘客に活用し、観光客・宿泊者の増加を図るとともに、地域住民の参画や関与を深めてシビックプライドの醸成につなげる。 また、農泊の拡大や充実、SDG sを活用した新たな旅行商品の開発により、通常の観光や教育旅行よりも深い関係人口の創出を目指す。加えて、世界農業遺産推進協議会を中心にSDG s観光の核となる農村地域の保全・継承を図る。	民間事業者やDMO、行政が広域に連携し、農泊受入家庭支援研修や関東の私立学校等への顧客開拓営業、地域住民対象の世界農業遺産シンポジウムの開催等、様々な取組を行った。なお美馬市での教育旅行の受入数は764泊。 【KPI】 ・にし阿波における農泊施設の延べ利用者数(内、美馬市) 目標値：3,000(1,480)人 実績値：4,712(1,574)人 ・にし阿波における国内延べ宿泊者数 目標値：140,000人 実績値：168,551(うち美馬市：49,833)人 ・にし阿波への移住者数 目標値：260人 実績値：368(うち美馬市：161)人	コロナ禍の影響でインバウンドが消失した中、本事業を活用した各種の取組によって、課題であった圏域内での国内宿泊者数や農泊利用者数の増加につながった。 また、アンケート調査結果によると、1人当たり旅行消費額が対前年度比+4.6%の24,967円という結果となった。	①本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど)	集約中	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」
2	うだつの町並み古民家改修による観光経済活性化事業 ＜拠点整備交付金＞	うだつの町並みにおける宿泊・飲食施設の滞在時間の隙間を埋める新たな消費の場として、また、古き趣ある町並みで新しいものが生まれるインキュベーションスペースとして、うだつの町並み内の古民家を新たなランドマーク施設に改修し、観光誘客と地域経済の活性化を図る。 具体的には、古民家を朝食がとれる店及びチャレンジショップとして整備するほか、本施設の2階をギャラリー兼コミュニティスペースとして整備・貸出しすることで、地元との交流を促進する。	新型コロナ等の影響で、3度目の入札でようやく契約に至った上に、工事を進めていく中で設計段階では予想されなかった腐食箇所が発見され、年度内に竣工とならなかったため、令和5年度に繰越とした。 【KPI】 ・うだつの町並み観光入込客数 目標値：140,000人 実績値：136,725人 ・当該施設での年間売上額、周辺宿泊施設等との連携件数、チャレンジショップ利用件数は、目標値及び実績値共に「0」。	現在、令和5年度に事業を繰越して実施している状況であり、完成までは事業効果を確認することができない。	⑤事業効果を確認できない	集約中	③当該事業が総合戦略の達成に「有効であったか検証できない」

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
3	美馬市「人生100年時代」美と健康のまちづくり推進プロジェクト ＜推進交付金＞	幅広い市民が「人生100年時代」とは何かを知り、「人生100年時代」にふさわしい人生設計を行うとともに、100歳人生の後半（高齢期）に健康で積極的に社会に参加し、それまでに培ってきた豊かな経験やスキル、「学び直し」によって身につけた知識などを地域社会で存分に発揮できる姿を目指す。 具体的には、「ジェロントロジー市民アンバサダー」の養成や活動支援、「美」を通じた高齢者の外出促進、「運動」と「食事」へのアプローチにより健康寿命の延伸を図る等、様々な取組を一体的・総合的に展開する。	<ul style="list-style-type: none"> 「ジェロントロジー市民アンバサダー」の認定制度の構築や講演会、ワークショップの実施。 アクティブシニアとのマッチングや、情報発信を行うポータルサイトの構築。 高齢者の外出促進のための福祉美容講演会や美容体験会、カラーコーディネート講座等の実施。 「プロギング」イベントや市内のモデルウォーキングコース（3箇所）の構築及びウォーキングイベント、食生活改善のためのワークショップの実施。 <p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンバサダー関係事業以外の事業への延べ参加者 目標値：750人 実績値：757人 ジェロントロジー市民アンバサダー年間延べ活動日数 目標値：500日 実績値：133日 	令和4年度はジェロントロジー市民アンバサダーを認定する制度を構築し、養成することが中心となったため、KPI②は目標値に到達しなかったが、アンバサダーによるジェロントロジーワークショップ等への意欲的な参加が見られた。引き続きアンバサダーの活動を後押しすることで、ジェロントロジーが普及し、各事業への参加者数が増加していくと考察する。	③本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど)	集約中	①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」
4	スマート農業(IoT水耕栽培施設)導入による地域の担い手人材確保・育成事業 ＜拠点整備交付金＞	人口減少、農業の担い手不足及び耕作放棄地の増加を一体的に解消するため、未来型スマート農業ハウス(IoT水耕栽培)を導入し、スマート農業の体験などのアグリワーケーションを通じた交流人口や関係人口の増加につなげる。 また、水耕栽培施設の技法を市内に広げるとともに、新規就農(起業)や地域の担い手となるリーダー農業者の確保・育成に取り組む。	IoTを活用した水耕栽培機器とワークルームを備えた「美馬アグリワーケーション施設」の整備を行うとともに、新規就農(起業)や地域の担い手となるリーダー農業者の確保・育成にむけて、「リーダー農業経営者育成講座」を開催した。 【KPI】 当該施設利用者のうちの就農者数、年間収入額、利用者のうちの移住者数は、目標値及び実績値共に「0」。	「美馬アグリワーケーション施設」の工事完了日が令和5年3月末であり、実質的な受入可能時期が令和5年夏頃になる見込みであるため、事業効果を確認できない。	⑤事業効果を確認できない	集約中	③当該事業が総合戦略の達成に「有効であったか検証できない」

令和4年度実施地方創生関係交付金事業等の書面検証事業一覧 **(6月末現在 検証委員による検証作業中)**

No.	事業名	事業目的及び概要
1	観光プロモーションプロジェクト推進事業 ＜企業版ふるさと納税活用＞	企業版ふるさと納税等を活用し、美馬市にドラマやCM等のロケを誘致して撮影・滞在支援等を行い、ドラマ作品等の映像を通じて、本市の魅力や認知度の向上を図る。 また、ロケツーリズムやコラボ商品等を開発し、観光地としての高付加価値化を実現して、新たな誘客による地域の「儲かる観光」を推進する。
2	子どもたちに感動を与える芸術体験事業 ＜企業版ふるさと納税活用＞	地域交流センターの市民ホールを活用し、市内の子どもたちに音楽や舞台など、「本物の芸術」に直接触れる機会を提供する。
3	移住創業支援事業 ＜企業版ふるさと納税活用＞	本市で新たに創業する移住者に対して、その創業に要する経費の一部を「創業等促進事業補助金」にて補助することにより、本市内において新たな需要や雇用の創出を促すとともに、移住者の定住を促進する。
4	木屋平・古宮・口山地区見回り服薬サポート事業 ＜企業版ふるさと納税活用＞	山間部にある美馬市木屋平、古宮、口山地区では医療機関が身近ではなく、若者との交流機会も少ないため、薬剤師等による見回り服薬サポートと安否確認を実施するとともに、大学薬学部と連携して、へき地医療研修を通じ大学生と高齢者との交流を深める。平成29年度から旧木屋平中学校校舎を改修した木屋平複合施設(小さな拠点づくり事業)に入居し、活動を継続している。